

1960年（昭和35年）の細菌学教室。黒屋政彦教授（左）と青木薫先生（右）

百年の年表 ～ 1960年（昭和35年）

西 暦	和 暦	細菌学教室・同窓会	医学部、東北大学	仙台、日本	世 界
1872年	明治5年		5月 「宮城県立医学所」設置		
1891年	明治24年		5月 「東北医学会」結成		
1904年	明治37年		9月 魯迅（周樹人）が仙台医学専門学校に入学		
1907年	明治40年		9月1日 「東北帝国大学設置」		
1914年	大正3年				7月28日 第一次世界大戦始まる
1915年	大正4年	4月1日 青木薫先生、東北帝国大学医学専門部の講師として着任 <p>7月14日 青木薫、細菌学教室初代教授に就任 抗原性による細菌分類の研究を開始</p>	7月14日 「東北帝国大学医科大学（医学科）」設置（勅令第115号） <p>解剖学3講座，病理学・病理解剖学部1講座，薬物学1講座，生理学2講座，医化学1講座及び細菌学1講座が置かれた。</p>	9月25日 山極勝三郎、市川厚一と共にウサギの耳介で実験的にタール癌を作ることに成功	
1916年	大正5年				
1918年	大正7年	細菌学教室竣工	3月 東北帝大医科大学本館が竣工。		スペイン風邪が大流行（～1920年）
1919年	大正8年		4月1日 東北帝国大学医科大学が「東北帝国大学医学部」と改称		11月11日 第一次世界大戦終わる
1923年	大正12年			9月1日 関東大震災起こる	
1926年	大正15年			11月25日 仙台市電営業開始	
1927年	昭和2年		1月10日 中島丁に「昭和舎」開寮		
1929年	昭和4年				フレミングがペニシリンを発見 <p>世界恐慌</p>
1938年	昭和13年	3月31日 青木薫教授定年退官 青木薫名誉教授ご逝去（享年61歳） <p>9月 黒屋政彦、講師として赴任</p> <p>11月30日 黒屋政彦、細菌学教室第二代教授に就任 生化学的手法を用いた「脱線細菌学」を実践</p>	昭和12年度より本学教官の定年制が開始	10月 仙台市電八幡町線開通	
1939年	昭和14年				9月3日 第二次世界大戦始まる
1940年	昭和15年		4月 昭和舎、本多光太郎総長の寄贈の土地（新坂通り）に新築移転 <p>5月13日 「臨時附属医学専門部」開設</p> <p>5月 熊谷岱蔵、本学総長に就任</p>		チェーン、フローリーら、ペニシリンを再発見
1941年	昭和16年		12月15日 「抗酸菌病研究所」創立		12月8日 真珠湾攻撃、太平洋戦争始まる
1943年	昭和18年				吉田富三が腹水肉腫（吉田肉腫）を発見
1944年	昭和19年	碧素（ペニシリン）第1号の精製に成功 <p>9月15日 第132回東北医学会例会にて近藤師家治先生「グラム陽性菌に対して阻止作用するペニシリンについて」を発表。抗生物質研究のメッカとなる</p>		9月17日 毎日新聞「躍進する万能薬 ペニシリン 米英の研究をはるかに凌ぐ 東北帝大の輝く戦果」と報道	ワクスマンら、ストレプトマイシン発見を発表
1945年	昭和20年				8月15日 第二次世界大戦終わる
1947年	昭和22年		10月1日 東北帝国大学、「東北大学」と改称		
1951年	昭和26年		4月1日 「東北大学医学部（新制）」発足		
1952年	昭和27年	インフルエンザウイルスおよび泉熱ウイルスを対象にウイルスの研究を開始 <p>12月 ワクスマン博士 細菌学教室を訪問</p>	3月31日 「附属医学専門部」廃止		
1953年	昭和28年	2月 黒屋政彦教授、東京大学教授を併任 <p>3月 細菌学教室でセンダイウイルス発見・分離</p>			4月 ワトソンとクリックがDNA二重らせん構造を発見
1955年	昭和30年	4月1日 黒屋政彦教授、医学部長に就任（～昭和32年3月）	7月1日 「大学院医学研究科（新制）」設置		
1956年	昭和31年	黒屋政彦教授、抗酸菌病研究所教授を併任			
1957年	昭和32年		7月 黒川利雄、本学総長に就任		
1960年	昭和35年	3月31日 黒屋政彦教授定年退官 <p>4月1日 石田名香雄、細菌学教室第三代教授に就任</p>			

1960年（昭和35年）の細菌学教室。黒屋政彦教授（左）と青木薫先生（右）

年表（1960年（昭和35年～）

西暦	和暦	細菌学教室・同窓会	医学部、東北大学	仙台、日本	世界
1964年	昭和39年				10月　東海道新幹線開業、第18回オリンピック東京大会開幕
1965年	昭和40年	4月　制癌剤ネオカルチノスタチン（NCS）を発見	11月2　本川弘一、本学総長に就任		
1967年	昭和42年	8月18日　黒屋政彦名誉教授ご逝去（享年70歳）			
1969年	昭和44年				7月20日　宇宙船アポロ11号、月に着陸
1970年	昭和45年			3月　大阪万国博覧会開幕	
1974年	昭和49年	7月　細菌学教室が基礎研究棟（現一号館）4階に移転	7月25日　医学部基礎研究棟（現一号館）竣工		
1975年	昭和50年	8月1日　石田名香雄教授、医学部長に就任（～昭和54年7月）			
1976年	昭和51年			3月31日　仙台市電、全線廃止	
1978年	昭和53年			6月12日　宮城県沖地震	
1980年	昭和55年	1月　石田名香雄教授、朝日賞受賞			5月8日　WHOが天然痘撲滅を宣言
1981年	昭和56年	10月　日沼頼夫、成人T細胞白血病の病因ヒトレトロウイルスを発見			
1982年	昭和57年			6月23日　東北新幹線開通	
1983年	昭和58年	5月　石田名香雄教授、東北大学第15代総長に就任	5月　石田名香雄、本学総長に就任		
1984年	昭和59年	9月　第6回国際ウイルス学会（会長：石田名香雄教授）を開催			
1985年	昭和60年		5月　東北大学医学部同窓会、「東北大学良陵同窓会」に改称		
1986年	昭和61年	3月　菅村和夫、細菌学教室第四代教授に就任　インターロイキン2（IL-2）の研究を開始	12月　黒川利雄、日本学士院長に就任		
		11月　日沼頼夫名誉教授、文化功労者			
1987年	昭和62年	6月　石田名香雄教授、日本学士院賞受賞		7月15日　仙台市地下鉄南北線開業	10月　利根川進、ノーベル生理学・医学賞受賞
1988年	昭和63年			3月13日　青函トンネル開通	
1989年	平成元年	4月　石田名香雄教授、総長任期満了にて東北大学を退官		6月　インテリジェント・コスモス研究機構発足	11月　ベルリンの壁、崩壊
		6月　石田名香雄名誉教授、仙台市名誉市民に推挙			
		6月　日沼頼夫名誉教授　日本学士院賞・恩賜賞受賞			
1990年	平成2年		3月　医学部附属病院旧正門（旧宮城病院表門）復元		
1992年	平成4年	7月　菅村和夫教授、IL-2受容体γ鎖を発見、遺伝子単離に成功			
1993年	平成5年		4月1日　抗酸菌病研究所、「加齢医学研究所」に改組・転換		
1994年	平成6年		4月1日　大学院医学研究科、「大学院医学系研究科」に改称		
			11月　医学部基礎研究棟、「医学部一号館」に改称		
1996年	平成8年	11月　石田名香雄名誉教授、勲一等瑞宝章受章			
1997年	平成9年	4月　大学院整備（重点化）（文部省令第15号）により「細菌学講座」を廃止し「免疫学分野」と「微生物学分野」を設置。菅村和夫教授が免疫学分野初代教授に就任			
1999年	平成11年	4月　小柳義夫、微生物学分野初代教授に就任（～平成16年1月）　HIVの研究を開始			
2002年	平成14年			10月　医学部保健学科が設置（医療技術短期大学の廃止が決定）	
2004年	平成16年	11月　菅村和夫教授、研究科長・医学部長に就任（～平成20年3月）			
2005年	平成17年	9月　押谷仁、微生物学分野第二代教授に就任　ウイルス感染症疫学の研究を開始			
2009年	平成21年	3月　菅村和夫教授定年退職			
		6月　石井直人、免疫学分野第二代教授に就任　T細胞機能制御の研究を開始			
		11月　日沼頼夫名誉教授、文化勲章受章			
		12月4日　石田名香雄名誉教授ご逝去（享年86歳）			
2011年	平成23年			3月11日　東日本大震災	
2015年	平成27年	7月14日　細菌学教室創立100周年を迎える			